

令和5年度 ネクタリン病害虫防除暦

(「コンフューザーMM」設置を前提とした防除)

JAながの 須高ブロック

回数 散布時期 散布日 重点防除期間	IRAC FRAC コード	薬剤名	薬剤量	倍率	散布量 (10a当り)	対象病害虫 *太字は重点 病害虫	収穫前 使用 規制	年間 使用 回数	主な作業と注意事項及びドリフト対策
1 発芽直前 3月中・下旬 月 日	— NC M3	水 スプレーオイル トレノックスフロアブル	98 ℓ 2 ℓ 200 mℓ	— 50 倍 500 倍	350 ℓ	縮葉病 カイガラムシ類 ハダニ類	発芽前 30 日前まで	— 5 回以内	・発芽以降は薬害が発生するので絶対に使用しない。 ・胴枯病の発生が多い園では、「トレノックスフロアブル」に替えて「石灰硫黄合剤」(10倍/発芽前/—)を散布する。 ・カイガラムシ類の重要な防除時期なので、無風の日を選び丁寧な散布を全園地必ず行う。又、死角にカイガラムシ類が発生する為手散布で補う。
コスカシバ対策 「フェニックスフロアブル」(500倍/開花期まで/年間1回)を樹幹部及び主枝に散布する。地際部から地上1mまですき間にしみこむように丁寧に散布する。									
せん孔細菌病の重点防除期間 被害枝を切除し園外へ出し焼却する。 せん孔細菌病の多い園では早めに袋掛けを行う。									
2 開花 1~2輪咲き 月 日	M1	水 ICボルドー412	96.7 ℓ 3.3 Kg	— 30 倍	350 ℓ	せん孔細菌病	—	—	・「ICボルドー412」に替えて「4-12式ボルドー」を散布しても良い。 ・せん孔細菌病の重要な防除時期なので必ず散布する。
せん孔細菌病の重点防除期間 被害枝を切除し園外へ出し焼却する。 せん孔細菌病の多い園では早めに袋掛けを行う。									
3 落花期 月 日	— 28 M3 41	水 展着剤 サムコルフロアブル10 トレノックスフロアブル マイコシールド	100 ℓ 10 mℓ 20 mℓ 200 mℓ 66 g	— 10,000 倍 5,000 倍 500 倍 1,500 倍	400 ℓ	せん孔細菌病 モモハモグリガ	— 3 日まで 30 日前まで 28 日前まで	— 2 回以内 5 回以内 5 回以内	・せん孔細菌病の枝病斑を点検して、見つけ次第切除し焼却する。 ・カスミカメムシ類の発生が多い園では、⑩「イカズチWDG」(1,500倍/収穫前日まで/年間5回以内)を単用散布する。但し、⑩「イカズチWDG」は、蚕毒、魚毒が強いので使用地域が限定されています。
せん孔細菌病の重点防除期間 被害枝を切除し園外へ出し焼却する。 せん孔細菌病の多い園では早めに袋掛けを行う。									
4 前回散布より 10日後 月 日	— M3 41 4	水 展着剤 トレノックスフロアブル マイコシールド ⑩ モスピラン顆粒水溶剤	100 ℓ 10 mℓ 200 mℓ 66 g 25 g	— 10,000 倍 500 倍 1,500 倍 4,000 倍	400 ℓ	せん孔細菌病 黒星病 モモハモグリガ シンクイムシ類 アブラムシ類 カメムシ類	— 30 日前まで 28 日前まで 3 日前まで	— 5 回以内 5 回以内 3 回以内	・せん孔細菌病の枝病斑を点検して、見つけ次第切除し焼却する。 ・⑩「モスピラン顆粒水溶剤」は、マメコバチなどの花粉媒介昆虫に影響があるので注意する。
「コンフューザーMM」の取り付け 10a当り 120本 5月中旬までに設置 ※面積当たりの設置本数は厳守する。									
せん孔細菌病の重点防除期間 被害枝を切除し園外へ出し焼却する。 せん孔細菌病の多い園では早めに袋掛けを行う。									
5 5月中・下旬 月 日	— M9 16 41	水 展着剤 ⑩ デランフロアブル アプロードフロアブル マイコシールド	100 ℓ 10 mℓ 166 mℓ 100 mℓ 66 g	— 10,000 倍 600 倍 1,000 倍 1,500 倍	500 ℓ	黒星病 せん孔細菌病 カイガラムシ類	— 14 日前まで 7 日前まで 28 日前まで	— 2 回以内 2 回以内 5 回以内	・⑩「デランフロアブル」は、ぶどうの葉にかかるると薬害を生じるので農薬の飛散には十分に注意する。 ・せん孔細菌病の発生が無い園地は、「マイコシールド」を散布しなくても良い。 ・せん孔細菌病の発生が無い園地は、⑩「デランフロアブル」を1,000倍で散布しても良い。
せん孔細菌病の重点防除期間 被害枝を切除し園外へ出し焼却する。 せん孔細菌病の多い園では早めに袋掛けを行う。									
6 6月上旬 月 日	— M9 4	水 展着剤 ⑩ デランフロアブル ⑩ バリアード顆粒水和剤	100 ℓ 10 mℓ 166 mℓ 25 g	— 10,000 倍 600 倍 4,000 倍	500 ℓ	黒星病 せん孔細菌病 モモハモグリガ アブラムシ類 シンクイムシ類	— 14 日前まで 3 日前まで	— 2 回以内 2 回以内	・果面及び葉裏に十分散布する。 ・⑩「デランフロアブル」は、ぶどうの葉にかかるると薬害を生じるので農薬の飛散には十分に注意する。 ・せん孔細菌病の発生園では「マイコシールド」(1,500倍/収穫28日前まで/年間5回以内)を散布する。但し、散布後28日間は収穫できない為、「メイファイヤー」、「アーリーレッドワン」、「アームキング」には使用しない。

回数 散布時期 散布日 重点防除期間	IRAC FRAC コード	薬剤名	薬剤量	倍率	散布量 (10a当り)	対象病害虫 *太字は重点 病害虫	収穫前 使用 規制	年間 使用 回数	主な作業と注意事項及びドリフト対策
7 6月中・下旬 月 日	— 11 9 3 31	水 展着剤 フリントフロアブル25 コルト顆粒水和剤 アーデントフロアブル スターナ水和剤	100 ℓ 10 mℓ 50 mℓ 33 g 50 mℓ 100 g	— 10,000 倍 2,000 倍 3,000 倍 2,000 倍 1,000 倍	500 ℓ	灰星病 黒星病 せん孔細菌病 アブラムシ類 ハマキムシ類 シンクイムシ類 カイガラムシ類	— 前日まで 前日まで 前日まで 7日前まで	— 2回以内 3回以内 3回以内 3回以内	・疫病の発生が多い圃では、「フリントフロアブル25」に替えて「ダコニール1000」(1,000倍/収穫前日まで/年間2回以内)を散布する。 ・晩生種は「アーデントフロアブル」に替えて④「ダイアジノン水和剤34」(1,000倍/収穫21日前まで/年間3回以内)を散布しても良い。 ・「アーデントフロアブル」に替えて④「ダースバンDF」(3,000倍/収穫14日前まで年間2回以内)を散布しても良い。但し、収穫14日間は収穫できない為、「メイファイヤー」はじめとした極早生種にはかからないよう注意する。
特別散布 除袋直後又は着色開始期に年間の定期防除に替えて必ず散布する。									
除袋直後 又は 着色開始期 月 日	— 3 3	水 アプローチBI オンリーワンフロアブル アーデントフロアブル	100 ℓ 100 mℓ 50 mℓ 50 mℓ	— 1,000 倍 2,000 倍 2,000 倍	500 ℓ	灰星病 ホモブシス腐敗病 シンクイムシ類 アブラムシ類 アザミウマ類 カメムシ類	— 前日まで 前日まで	— 3回以内 3回以内	・1品種につき1回の散布を厳守する。
8 7月上・中旬 月 日	— 3 28	水 展着剤 アンビルフロアブル サムコルフロアブル10	100 ℓ 10 mℓ 100 mℓ 20 mℓ	— 10,000 倍 1,000 倍 5,000 倍	500 ℓ	ホモブシス腐敗病 灰星病 ハマキムシ類 シンクイムシ類 モモハモグリガ ハダニ類 アブラムシ類 アザミウマ類	— 前日まで 3日まで	— 3回以内 2回以内	・この時期以後、灰星病の被害果は、見つけ次第土中に埋める。 ・降雨が多い場合は、1週間後に「パレード15フロアブル」(2,000倍/収穫前日まで/年間2回以内)を散布する。 ・せん孔細菌病の発生圃では、「スターナ水和剤」(1,000倍/収穫7日前まで/年間3回以内)を加用散布する。但し、散布後7日間は収穫できません。 ・「サムコルフロアブル」は、散布後3日間は収穫できません。
9 7月下旬 月 日	— M7 3	水 展着剤 ベルコートフロアブル アーデントフロアブル	100 ℓ 10 mℓ 50 mℓ 50 mℓ	— 10,000 倍 2,000 倍 2,000 倍	500 ℓ	ホモブシス腐敗病 灰星病 ハマキムシ類 シンクイムシ類 モモハモグリガ ハダニ類 アブラムシ類 アザミウマ類	— 前日まで 前日まで	— 2回以内 3回以内	・腐敗果及びシンクイムシの被害果は、見つけ次第土中に埋める。 ・ナミハダニの発生が多い圃では、「ダニコングフロアブル」(2,000倍/収穫前日まで/年間1回)を加用散布する。 ・降雨が多い場合は、1週間後に「オーシャインフロアブル」(2,000倍/収穫前日まで/年間3回以内)を散布する。
10 8月初旬 月 日	— 2 5	水 展着剤 ロブラール水和剤 ディアナWDG	100 ℓ 10 mℓ 66 g 10 g	— 10,000 倍 1,500 倍 10,000 倍	500 ℓ	灰星病 シンクイムシ類 モモハモグリガ ハマキムシ類 アザミウマ類	— 前日まで 前日まで	— 3回以内 2回以内	・降雨が多い場合は、1週間後に「アンビルフロアブル」(1,000倍/収穫前日まで/年間3回以内)を散布する。
11 8月中旬 月 日	— 28 3	水 展着剤 エクシレルSE オーシャインフロアブル	100 ℓ 10 mℓ 20 mℓ 50 mℓ	— 10,000 倍 5,000 倍 2,000 倍	500 ℓ	灰色かび病 灰星病 ホモブシス腐敗病 モモハモグリガ	— 前日まで 前日まで	— 3回以内 3回以内	・降雨が多い場合は、1週間後に「ロブラール水和剤」(1,500倍/収穫前日まで/年間3回以内)を散布する。

回数 散布時期 散布日 重点防除期間	IRAC FRAC コード	薬剤名	薬剤量	倍率	散布量 (10a当り)	対象病害虫 *太字は重点 病害虫	収穫前 使用 規制	年間 使用 回数	主な作業と注意事項及びドリフト対策
12 8月下旬 月 日	— M7	水 展着剤 ベルコートフロアブル	100 ℓ 10 mℓ 50 mℓ	— 10,000 倍 2,000 倍	500 ℓ	灰色かび病 灰星病 ホモブシス腐敗病 モモハモグリガ	— 前日まで	— 2 回以内	・シンクイムシの発生が心配される場合は④「バリアード顆粒水和剤」(4,000倍/ 収穫3日前まで/年間2回以内)を加用散布する。但し、散布後3日間は収穫 できません。
せん孔細菌病の重点防除期間									
13 収穫直後 9月上・中旬 月 日	M1 1	水 ICボルドー412 サイアノックス水和剤	96.7 ℓ 3.3 Kg 100 g	— 30 倍 1,000 倍	400 ℓ	せん孔細菌病 モモハモグリガ	— 21 日前まで	— 2 回以内	・「ICボルドー412」に替えて「4-12式ボルドー」を散布しても良い。 ・主幹にかかるように丁寧に散布する。 ・隣接作物に飛散すると汚れを生じるので、飛散させないように注意する。
せん孔細菌病の重点防除期間									
14 前回散布 から14日後 月 日	M1	水 ICボルドー412	96.7 ℓ 3.3 Kg	— 30 倍	400 ℓ	せん孔細菌病	—	—	・「ICボルドー412」に替えて「4-12式ボルドー」を散布しても良い。 ・隣接作物に飛散すると汚れを生じるので、飛散させないように注意する。
せん孔細菌病の重点防除期間									
15 前回散布 から14日後 月 日	M1	水 ICボルドー412	96.7 ℓ 3.3 Kg	— 30 倍	400 ℓ	せん孔細菌病	—	—	・「ICボルドー412」に替えて「4-12式ボルドー」を散布しても良い。 ・隣接作物に飛散すると汚れを生じるので、飛散させないように注意する。

※ コスカシバの多い圃では、「スカシバコンL」を4月下旬に50本/10a設置する。